

JPCOARスキーマ ver1.0.2 項目一覧										マッピング			正規化		エラーチェック			
No	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰り返し 回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	Junii2からのマッピング	Junii2へのマッピング	Junii2への変換時対応	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング
1	dc:title		TRUE	M	1-N	コンテンツのタイトル。論文の場合、論題である。コンテンツ文と同じ言語のタイトル情報は必ず記入する。タイトルの言語情報はxml:langに記入する。	タイトルの情報が複数言語ある場合は、要素を繰り返して記入する。ただし、各言語コードのdc:titleの出現回数は1回までとする。優先度の高い言語表記の順に記入する。目次タイトル、奥付タイトル等がある場合は、dc:terms:alternative (その他のタイトル) に記入する。コンテンツが図説の一部 (章など) である場合、dc:title (タイトル) の別言語のタイトルはdc:title (タイトル) に記入する。目次言語のタイトルはjpcoar:relation (関係) に記入する。ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Kana"とし、片仮名で記入する。また、ヨミを記入する場合は、xml:lang="ja"の情報を必ず記入する。	<pre><dc:title xml:lang="ja">情報通信時代の研究基礎構想</dc:title> <dc:title xml:lang="ja-Kana">ジョウポウ バクハツ シダイ ノケンキユ エイバン コウワク</dc:title> <dc:title xml:lang="en">Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dc:title> <dc:title xml:lang="en">Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dc:title> <dc:title xml:lang="zh-cn">“如果”句的叙事实践述析</dc:title></pre>	<pre>xml:langの指定がない。記入は推奨しない。 <dc:title>情報通信時代の研究基礎構想</dc:title> 複数言語の並列表記は推奨しない。 <dc:title xml:lang="jaen">情報通信時代の研究基礎構想 = Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dc:title> 収録物を含めることは推奨しない。収録物はjpcoar:sourceTitle (収録物名) を使用する。 <dc:title xml:lang="ja">NIJの概要(日本病学会雑誌)</dc:title> 第一言語指定の要素を繰り返してはならない。 <dc:title xml:lang="ja">情報通信時代の研究基礎構想</dc:title> <dc:title xml:lang="ja">データマイニング、次世代サーチなどの研究</dc:title></pre>	タイトル	title	title (alternative)	<p>①1つ目のdc:titleはtitleへ、2つ目以降はalternativeへ</p> <p>②xml:lang属性はlang属性として変換 (言語コード変換)</p> <p>【以下、全要素共通】 JPCOARでは繰り返し可だが、Junii2で繰り返し不可の項目について、移行時の優先順位判定方法 - データの並び順で、上から取る。</p>	<p>①全角 -> 半角 (xml:langのみ)</p> <p>②英大文字 -> 英小文字 (xml:langのみ)</p> <p>③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)</p>	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	<p>①要素がない。</p> <p>②xml:langが重複している。(xml:langがない場合も含む)</p> <p>③xml:lang=ja-Kanaのデータが存在するとき、xml:lang=jaのデータが存在しない。</p>	①xml:langが語彙に存在しない。(xml:lang属性のみ非登録)	①xml:lang が存在しない。
2	dc:terms:alternative		TRUE	MA	0-N	目次タイトル、奥付タイトル等の本タイトル以外のタイトルを記入する。	その他のタイトルが複数言語ある場合は、要素を繰り返して記入する。各言語コードのdc:terms:alternativeの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。本タイトルの別言語のタイトルはdc:title (タイトル) に記入する。ヨミは言語情報をxml:lang="ja-Kana"とし片仮名で記入する。また、ヨミを記入する場合は、xml:lang="ja"の情報を必ず記入する。	<pre><dc:terms:alternative xml:lang="ja">データマイニング、次世代サーチなどの研究</dc:terms:alternative> <dc:terms:alternative> <dc:terms:alternative xml:lang="ja-Kana">データ マイニング ジセイヤ サーチ ナド ノケンキユ</dc:terms:alternative></pre>	<pre>複数言語の並列表記は推奨しない。 <dc:terms:alternative xml:lang="jaen">情報通信時代の研究基礎構想 = Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dc:terms:alternative> 収録物を含めることは推奨しない。収録物はjpcoar:sourceTitle (収録物名) を使用する。 <dc:terms:alternative xml:lang="ja">NIJの概要(日本病学会雑誌)</dc:terms:alternative></pre>	その他 (別言語等) のタイトル	alternative	alternative	①xml:lang属性はlang属性として変換 (言語コード変換)	<p>①全角 -> 半角 (xml:langのみ)</p> <p>②英大文字 -> 英小文字 (xml:langのみ)</p> <p>③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)</p>	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	<p>①xml:lang=ja-Kanaのデータが存在するとき、xml:lang=jaのデータが存在しない。</p> <p>②xml:langが語彙に存在しない。(xml:lang属性のみ非登録)</p>	①xml:lang が存在しない。	
3	jpcoar:creator			MA	0-N	コンテンツの作成に責任を持つ個人または団体等。	学位論文の場合は必ず入力する。複数の著者が存在する場合は、第一著者から順に記入する。	<pre><jpcoar:creator> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:creatorName xml:lang="ja">夏目 漱石</jpcoar:creatorName> <jpcoar:creatorName xml:lang="en">Natsume, Soseki</jpcoar:creatorName> <jpcoar:creatorName xml:lang="ja-Kana">ナツメ、ソウセキ</jpcoar:creatorName> <jpcoar:familyName xml:lang="ja">夏目</jpcoar:familyName> <jpcoar:givenName xml:lang="ja">漱石</jpcoar:givenName> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja">夏目、金之助</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="en">Natsume, Kinnosuke</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja-Kana">ナツメ、キンノスケ</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:affiliation> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://www.isni.org/isni/0000000121691048">00000121691048</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:affiliationName xml:lang="en">University of Tokyo</jpcoar:affiliationName> </jpcoar:affiliation> </jpcoar:creator></pre>		ID属性	creator id	-	①全角 -> 半角	<p>①全角 -> 半角</p> <p>②英大文字 -> 英小文字</p> <p>③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)</p>		①14 dc:type=thesis bachelor thesis master thesis doctoral thesis のとき、要素が存在しない。		
3.1	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	MA	0-N	作成者を一意に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: 0000-0001-0003-0004 (ORCID)、3041.3925 (e-Rad)、0000000378057894 (ISNI))。nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーマを以下の統制語彙から選択して記入する。 - e-Rad - ORCID - ISNI - VIAF - AID - kakenhi - Ringgold - GRID。	jpcoar:nameIdentifierの値は読者群等の情報を付与し、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<pre><jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier></pre>	e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi Ringgold GRID	creator id	-	①全角 -> 半角	<p>①全角 -> 半角</p> <p>②英大文字 -> 英小文字</p> <p>③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)</p>		①語彙別のフォーマットを満たしていない。(語彙別表参照)			
	nameIdentifierScheme		FALSE	M	1	統制語彙から選択して記入する。 - e-Rad - ORCID - ISNI - VIAF - AID - kakenhi - Ringgold - GRID。		<pre><jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="orcid" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0002-3276-3753">https://orcid.org/0000-0002-3276-3753</jpcoar:nameIdentifier></pre>			-	①全角 -> 半角	<p>①語彙に存在しない。</p> <p>②nameIdentifierSchemeが存在しない。</p>					
	nameIdentifierURI		FALSE	MA	0-1	nameIdentifierURIにはIDをHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない (例: https://nrid.nii.ac.jp/nrid/1000030413925/ (NRID) https://orcid.org/0000-0001-0002-0003 (ORCID) http://isni.org/isni/0000000082849737 (ISNI) https://viaf.org/viaf/56614190 (VIAF))。					creator@id	①URI形式だったら、出力する。	①全角 -> 半角	①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。(語彙別表参照)				
3.2	jpcoar:creatorName		TRUE	MA	0-N	作成者の姓を記入する。個人名の姓名の区切りは「姓,△名」(カンマ+半角空白)とする。英語表記のファーストネームがある場合は、「姓, △ミドルネーム△名」と記入する。	各言語コードのjpcoar:creatorNameの出現回数は1回までとする。肩書きや役職、補記は記入しない。監修者や指導者のような間接的な役割の者はjpcoar:contributor (著者) を使用する。出版者はdc:publisher (出版者) を使用する。ヨミは言語情報をxml:lang="ja-Kana"とし片仮名で記入する。	<pre><jpcoar:creatorName xml:lang="ja">夏目 漱石</jpcoar:creatorName> <jpcoar:creatorName> <jpcoar:creatorName xml:lang="en">Natsume, Soseki</jpcoar:creatorName> <jpcoar:creatorName xml:lang="ja-Kana">ナツメ、ソウセキ</jpcoar:creatorName></pre>	作成者	creator	creator	①xml:lang属性はlang属性として変換 (言語コード変換)	<p>①全角 -> 半角 (xml:langのみ)</p> <p>②英大文字 -> 英小文字 (xml:langのみ)</p> <p>③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)</p>	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	<p>①xml:langが重複している。</p> <p>②xml:lang=ja-Kanaのデータが存在するとき、xml:lang=jaのデータが存在しない。</p> <p>③xml:langが語彙に存在しない。(xml:lang属性のみ非登録)</p>	①xml:lang が存在しない。		
3.3	jpcoar:familyName		TRUE	O	0-N	作成者の姓を記入する。作成者が個人であり、姓が判別可能な場合は記入する。	各言語コードのjpcoar:familyNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<pre><jpcoar:familyName xml:lang="ja">夏目</jpcoar:familyName></pre>			-	①全角 -> 半角 (xml:langのみ) <p>②英大文字 -> 英小文字 (xml:langのみ)</p> <p>③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)</p>	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	<p>①xml:langが重複している。</p> <p>②xml:lang="ja-Kana"である。</p> <p>③xml:langが語彙に存在しない。(xml:lang属性のみ非登録)</p>	①familyNameがあっても、creatorNameがない。			
3.4	jpcoar:givenName		TRUE	O	0-N	作成者の名を記入する。作成者が個人であり、名が判別可能な場合は記入する。ミドルネームがある場合は、「ミドルネーム△名」と記入する。	各言語コードのjpcoar:givenNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<pre><jpcoar:givenName xml:lang="ja">漱石</jpcoar:givenName></pre>			-	①全角 -> 半角 (xml:langのみ) <p>②英大文字 -> 英小文字 (xml:langのみ)</p> <p>③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)</p>	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	<p>①xml:langが重複している。</p> <p>②xml:lang="ja-Kana"である。</p> <p>③xml:langが語彙に存在しない。(xml:lang属性のみ非登録)</p>	①givenNameがあっても、creatorNameがない。			
3.5	jpcoar:creatorAlternative		TRUE	O	0-N	作成者に別名がある場合、その姓名を記入する。記述方法および注意点はjpcoar:creatorName (作成者姓名) に準じる。各言語の出現回数は1回に限らず、複数記入可能とする。	ヨミは言語情報をxml:lang="ja-Kana"とし片仮名で記入する。	<pre><jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja">夏目、金之助</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="en">Natsume, Kinnosuke</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja-Kana">ナツメ、キンノスケ</jpcoar:creatorAlternative></pre>			-	①全角 -> 半角 (xml:langのみ) <p>②英大文字 -> 英小文字 (xml:langのみ)</p> <p>③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)</p>	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	<p>①xml:lang=ja-Kanaのデータが存在するとき、xml:lang=jaのデータが存在しない。</p> <p>②xml:langが語彙に存在しない。(xml:lang属性のみ非登録)</p>	①creatorAlternativeがあっても、creatorNameがない。			

JPCOARスキーマ ver1.0.2 項目一覧										マッピング			正規化		エラーチェック				
No	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記し レベル	繰返 回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	言語	Junii2からのマッピング	Junii2へのマッピング	Junii2への変換時対応	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング	
3.6	jpcoar:affiliation		-	R	0-N	作成者の所属する機関名。		<jpcoar:affiliation> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://isni.org/isni/0000000121691048">0000000121691048</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:affiliationName xml:lang="en">University of Tokyo</jpcoar:affiliationName> </jpcoar:affiliation>											
3.6.1	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	R	0-N	所属機関を一意に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキームで保存する (例: 000000012192178X (ISNI) 、 12501 (kakenhi)) 。 nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーム名を以下の統制語彙から選択して記入する。 - kakenhi - ISNI - Ringgold - GRID, nameIdentifierURIにはIDの値をHTTP UR形式で記入する。 URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない (例: http://www.isni.org/isni/0000000121691048 (ISNI) https://www.grid.ac/institutes/grid.26999.3d (GRID)) 。	jpcoar:nameIdentifierの値は機関等の情報を付けず、IDのみを記入する。 jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーム名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://isni.org/isni/0000000121691048">0000000121691048</jpcoar:nameIdentifier>		e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi ISNI Ringgold GRID					①全角 -> 半角				①語彙別のフォーマットを満たしていない。 (語彙別表参照) ②nameIdentifierSchemeが存在しない。
		nameIdentifierScheme	FALSE	M	1									①全角 -> 半角 ②英大文字 -> 英小文字 ③語彙に合わせた大文字小文字の変換				①語彙が存在しない。	
		nameIdentifierURI	FALSE	R	0-1										①全角 -> 半角				①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。 (語彙別表参照)
3.6.2	jpcoar:affiliationName		TRUE	R	0-N	所属機関の名称を記入する。所属機関名の言語属性はxml:langに記入する。	略称ではなく、正式名称を記入する。記入は機関名までとし、略称名など下位階層の所属は記入しない。当該コンテナが作成された時点の所属機関名を記入する。所属機関名が複数言語ある場合は、本文言語と同じ言語の所属機関名を最初に記入し、続いて別言語の所属機関名を繰り返して記入する。各言語コードのjpcoar:affiliationNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:affiliationName xml:lang="en">University of Tokyo</jpcoar:affiliationName>					①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②英大文字 -> 英小文字 (xml:langのみ) ③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)			①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)		
4	jpcoar:contributor		-	R	0-N	コンテンツの作成に間接的に関わりを持つ個人または団体等。 contributorTypeには適切な役割以下の統制語彙から選択して記入する。該当する役割がない場合は、"other"を選択する。 - ContactPerson - DataCollector - DataCurator - DataManager - Distributor - Editor - HostingInstitution - Producer - ProjectLeader - ProjectManager - ProjectMember - RelatedPerson - Researcher - ResearchGroup - Sponsor - Supervisor - WorkPackageLeader - Other		<jpcoar:contributor contributorType="Editor"> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:contributorName xml:lang="ja">山田, 一郎</jpcoar:contributorName> <jpcoar:contributorName xml:lang="en">Yamada, Ichiro</jpcoar:contributorName> <jpcoar:contributorName xml:lang="ja-Kana">ヤマダ, イチロウ</jpcoar:contributorName> <jpcoar:familyName xml:lang="ja">山田</jpcoar:familyName> <jpcoar:givenName xml:lang="ja">一郎</jpcoar:givenName> <jpcoar:affiliation> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">12601</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:affiliationName xml:lang="en">University of Tokyo</jpcoar:affiliationName> </jpcoar:affiliation> </jpcoar:contributor>		ContactPerson DataCollector DataCurator DataManager Distributor Editor HostingInstitution Producer ProjectLeader ProjectManager ProjectMember RelatedPerson Researcher ResearchGroup Sponsor Supervisor WorkPackageLeader Other					①全角 -> 半角 ②英大文字 -> 英小文字 ③語彙に合わせた大文字小文字の変換				①語彙が存在しない。
		contributorType	FALSE	R	0-1														①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。 (語彙別表参照)
4.1	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	MA	0-N	著作者を一意に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキームで保存する (例: 0000-0001-0003-0004 (ORCID) 、 30413925 (e-Rad) 、 0000000378057894 (ISNI)) 。 nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーム名を以下の統制語彙から選択して記入する。 - e-Rad - NRID - ORCID - ISNI - VIAF - AID - kakenhi - Ringgold - GRID, nameIdentifierURIにはIDの値をHTTP UR形式で記入する。 URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない (例: https://nrid.nii.ac.jp/nrid/1000030413925/ (NRID) https://orcid.org/0000-0001-0002-0003 (ORCID) http://isni.org/isni/0000000002849737 (ISNI) https://viaf.org/viaf/56614190 (VIAF)) 。	jpcoar:nameIdentifierの値は機関等の情報を付けず、IDのみを記入する。 jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーム名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier>	nameIdentifierの値にURLを記入しない。 <jpcoar:nameIdentifier>https://orcid.org/0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier>	e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi Ringgold GRID	ID属性	contributor id			①全角 -> 半角				①語彙別のフォーマットを満たしていない。 (語彙別表参照) ②nameIdentifierSchemeが存在しない。
		nameIdentifierScheme	FALSE	M	1									①全角 -> 半角 ②英大文字 -> 英小文字 ③語彙に合わせた大文字小文字の変換				①語彙が存在しない。	
		nameIdentifierURI	FALSE	MA	0-1							contributor@id	①URI形式だったら、出力する。	①全角 -> 半角				①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。 (語彙別表参照)	
4.2	jpcoar:contributorName		TRUE	R	0-N	著作者の姓名を記入する。個人名の姓の区切りは「姓,△名」(カンマ+半角空白)とする。英表記のファーストネームが分らない場合は姓文字でもよい。三ドルネームがある場合は、「姓,△三ドルネーム△名」と記入する。	各言語コードのjpcoar:contributorNameの出現回数は1回までとする。肩書きや役職、補記は記入しない。著者や翻訳者等のような直接的な役割の者はjpcoar:creator (作成者) を使用する。出版者はdc:publisher (出版者) を使用する。ヨミは言語属性をxml:lang="ja-Kana"とし片仮名で記入する。	<jpcoar:contributorName xml:lang="ja">山田, 一郎</jpcoar:contributorName> <jpcoar:contributorName xml:lang="en">Yamada, Ichiro</jpcoar:contributorName> <jpcoar:contributorName xml:lang="ja-Kana">ヤマダ, イチロウ</jpcoar:contributorName>	xml:langの指定がない。記入は推奨しない。 <jpcoar:contributorName>山田, 一郎</jpcoar:contributorName>	著作者	contributor	contributor	①xml:lang属性はlang属性として変換 (言語コード変換) ③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)			①xml:langが重複している。 ②xml:lang="ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ③xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	①xml:langが存在しない。	
4.3	jpcoar:familyName		TRUE	O	0-N	著作者の姓を記入する。著作者が個人であり、姓が判別可能な場合は記入する。	各言語コードのjpcoar:familyNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<jpcoar:familyName xml:lang="ja">山田</jpcoar:familyName>					①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②英大文字 -> 英小文字 (xml:langのみ) ③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)			①xml:langが重複している。 ②xml:lang="ja-Kana"である。 ③xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	①familyNameがあっても、contributorNameがない。	
4.4	jpcoar:givenName		TRUE	O	0-N	著作者の名を記入する。著作者が個人であり、名が判別可能な場合は記入する。三ドルネームがある場合は、「三ドルネーム△名」と記入する。	各言語コードのjpcoar:givenNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<jpcoar:givenName xml:lang="ja">一郎</jpcoar:givenName>					①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②英大文字 -> 英小文字 (xml:langのみ) ③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)			①xml:langが重複している。 ②xml:lang="ja-Kana"である。 ③xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	①givenNameがあっても、contributorNameがない。	
4.5	jpcoar:contributorAlternative		TRUE	O	0-N	著作者に別名がある場合、その姓名を記入する。記述方法および注意点はjpcoar:contributorName (著作者姓名) に準じる。各言語の出現回数は1回に限らず、複数記入可能とする。	ヨミは言語属性をxml:lang="ja-Kana"とし片仮名で記入する。						①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②英大文字 -> 英小文字 (xml:langのみ) ③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)			①xml:lang="ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	①contributorAlternativeがあっても、contributorNameがない。	
4.6	jpcoar:affiliation		-	R	0-N	著作者の所属する機関。													
4.6.1	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	R	0-N	所属機関を一意に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキームで保存する (例: 000000012192178X (ISNI) 、 12501 (kakenhi)) 。 nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーム名を以下の統制語彙から選択して記入する。 - kakenhi - ISNI - Ringgold - GRID, nameIdentifierURIにはIDの値をHTTP UR形式で記入する。 URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない (例: http://www.isni.org/isni/0000000121691048 (ISNI) https://www.grid.ac/institutes/grid.26999.3d (GRID)) 。	jpcoar:nameIdentifierの値は機関等の情報を付けず、IDのみを記入する。 jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーム名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">12601</jpcoar:nameIdentifier>		e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi ISNI Ringgold GRID					①全角 -> 半角				①語彙別のフォーマットを満たしていない。 (語彙別表参照) ②nameIdentifierSchemeが存在しない。
		nameIdentifierScheme	FALSE	M	1									①全角 -> 半角 ②英大文字 -> 英小文字 ③語彙に合わせた大文字小文字の変換				①語彙が存在しない。	
		nameIdentifierURI	FALSE	R	0-1										①全角 -> 半角				①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。 (語彙別表参照)

JPCOARスキーマ ver1.0.2 項目一覧						マッピング				正規化			エラーチェック							
No	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記し レベル	繰り返し 回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	Junii2からのマッピング	Junii2へのマッピング	Junii2への変換時対応	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング		
4.6.2	jpcoar:affiliationName		TRUE	R	0-N	所属機関の名称を記入する。所属機関名の言語属性はxml:langに記入する。	略称ではなく、正式名称を記入する。記入は機関名までとし、部局名など下位階級の所属は記入しない。当該コンテンツが作成された時点の所属機関を記入する。所属機関名が複数言語ある場合は、本文言語と同じ言語の所属機関名を最初に記入し、続いて第2言語の所属機関名を繰り返して記入する。各言語コードのjpcoar:affiliationNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:affiliationName xml:lang="en">University of Tokyo</jpcoar:affiliationName>										①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)		
5	dcterms:accessRights		FALSE	MA	0-1			<dcterms:accessRights rdf:resource="http://url.org/coar/access_right/c_abf2">open access</dcterms:accessRights>		embargoed access metadata only access restricted access open access								①語彙に存在しない。		
		rdf:resource	FALSE	M	1	コンテンツのアクセス状態を記入する。以下の統制語彙から選択して記入する。 - embargoed access: エンバーゴ有 - metadata only access: メタデータのみ - open access: オープンアクセス - restricted access: アクセス制限有。	コンテンツのライセンスに関する情報はdcterms:rights (権利情報) を参照する。「Embargoed access」の場合は、datecite:date (日付) のdateTypeに"Available"を指定し、利用開始日を記入する。	<dcterms:accessRights rdf:resource="http://url.org/coar/access_right/c_14cb">metadata only access</dcterms:accessRights><dcterms:accessRights rdf:resource="http://url.org/coar/access_right/c_16ec">restricted access</dcterms:accessRights>									①語彙に対応したURIを出力 (語彙別表参照)			
6	rioxterms:apc		FALSE	O	0-1	オリジナルのコンテンツに関連するAPCの状態。以下の語彙から選択する。 - Paid: 支払済み - Fully waived: 全て免除 - Not required: 不要 - Partially waived: 一部免除 - Not charged: 無料 - Unknown: 不明	APCの価格を記入しない。	<rioxterms:apc>Paid</rioxterms:apc>	APCの価格を記入しない。 <rioxterms:apc>\$3,000</rioxterms:apc>	Paid Partially waived Fully waived Not charged Not required Unknown								①語彙に存在しない。		
7	dcterms:rights		TRUE	R	0-N			<dcterms:rights xml:lang="en">Creative Commons Attribution 4.0 International</dcterms:rights>		権利	rights	rights	xml:lang属性は切り捨てる。						①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
		rdf:resource	FALSE	R	0-1	コンテンツの利用に関する権利情報を記入する。知的所有権や著作権に関する情報を含む。ライセンス情報を記入する際にはライセンスの正式なバージョン情報を記入する (例: Creative Commons Attribution 4.0 International)。その他の場合は、自由記述とするが、出版者の権利者からの指定がある場合は、その指示に従う。ライセンスにURIがある場合、rdf:resourceにHTTP URI形式で記入し、再利用の条件を示すことを推奨する (例: https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en)。	ライセンス情報は短縮形で記入しない。各言語コードのdcterms:rightsの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<dcterms:rights xml:lang="en">(c) ACM 2016. This is the author's version of the work. It is posted here for your personal use. Not for redistribution. The definitive Version of Record was published in http://doi.org/10.1145/123456789</dcterms:rights>				(rights)	dcterms:rightsに値がないとき、rdf:resourceの値をrightsにセットする。						①URI形式チェック。	
8	jpcoar:rightsHolder			R	0-N	作成者および著者以外の著作権等の権利保持者を記入する。		<jpcoar:rightsHolder><jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://isni.org/isni/00000004043815">0000000404381592</jpcoar:nameIdentifier><jpcoar:rightsHolderName xml:lang="en">American Physical Society</jpcoar:rightsHolderName></jpcoar:rightsHolder>												
8.1	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	R	0-N	権利者を一意に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: 0000-0001-0003-0004 (ORCID)、30413925 (e-Read)、0000000378057894 (ISNI))。nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーマ名を以下の統制語彙から選択して記入する。 - e-Read - NRID - ORCID - ISNI - VIAF - AID - kakenhi - Ringgold - GRID。	jpcoar:nameIdentifierの値は読解等の情報を付与せず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierURIは指定しない (例: https://nrid.nii.ac.jp/nrid/1000030413925/ (NRID) https://orcid.org/0000-0001-0002-0003 (ORCID) http://isni.org/eni/0000000082849737 (ISNI) https://viaf.org/viaf/56614190 (VIAF))。													①名前識別子のフォーマットを満たしていない。(語彙別表参照) ②nameIdentifierSchemeが存在しない。
		nameIdentifierScheme	FALSE	M	1	nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーマ名を以下の統制語彙から選択して記入する。 - e-Read - NRID - ORCID - ISNI - VIAF - AID - kakenhi - Ringgold - GRID。	jpcoar:nameIdentifierの値は読解等の情報を付与せず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierURIは指定しない (例: https://nrid.nii.ac.jp/nrid/1000030413925/ (NRID) https://orcid.org/0000-0001-0002-0003 (ORCID) http://isni.org/eni/0000000082849737 (ISNI) https://viaf.org/viaf/56614190 (VIAF))。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://isni.org/isni/00000004043815">0000000404381592</jpcoar:nameIdentifier>											①名前識別子のフォーマットを満たしていない。(語彙別表参照) ②nameIdentifierSchemeが存在しない。	
		nameIdentifierURI	FALSE	R	0-1	nameIdentifierURIにはIDをHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない (例: https://nrid.nii.ac.jp/nrid/1000030413925/ (NRID) https://orcid.org/0000-0001-0002-0003 (ORCID) http://isni.org/eni/0000000082849737 (ISNI) https://viaf.org/viaf/56614190 (VIAF))。	jpcoar:nameIdentifierの値は読解等の情報を付与せず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierURIは指定しない (例: https://nrid.nii.ac.jp/nrid/1000030413925/ (NRID) https://orcid.org/0000-0001-0002-0003 (ORCID) http://isni.org/eni/0000000082849737 (ISNI) https://viaf.org/viaf/56614190 (VIAF))。												①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。(語彙別表参照)	
8.2	jpcoar:rightsHolderName		TRUE	R	0-N	記述方法はjpcoar:creatorName (作成者姓名) に準じる。		<jpcoar:rightsHolderName xml:lang="en">American Physical Society</jpcoar:rightsHolderName>											①xml:langが重複している。 ②xml:lang=ja-Kanaのデータが存在するとき、xml:lang=jaのデータが存在しない。 ③xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
9	jpcoar:subject		TRUE	MA	0-N	コンテンツの内容を表す辞書、著者キーワード、分類を記入する。分類はコードのみを記入する。subjectSchemeは以下の語彙を使用する。 - BSH - DDC - LCC - LCSH - MeSH - NDC - NDLC - NDLSH - SciVal - UDC - Other。	分類の項目名は記入しない。著者キーワードの場合subjectSchemeは"Other"を指定する。各言語コードのjpcoar:subjectの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	著者キーワードの例 <jpcoar:subject xml:lang="ja" subjectScheme="Other">情報化社会</jpcoar:subject> 日三記号の例 <jpcoar:subject xml:lang="ja-Kana" subjectScheme="Other">ジョウホウカシャ</jpcoar:subject> 分科コードの例 <jpcoar:subject subjectScheme="NDC">007</jpcoar:subject> 件名の例 <jpcoar:subject xml:lang="ja" subjectScheme="NDLSH" subjectURI="https://id.ndl.go.jp/auth/ndish/01009109">社会情報学</jpcoar:subject>		著者キーワード 国立情報学研究所 メタデータ主語集 日本十進分類法 国立国会図書館分類表 日本件名標目 国立国会図書館件名標目表 医学件名標目表 デュロイ十進分類法 米国国会図書館分類表 国際十進分類法 米国国会図書館件名標目表	subject NIIsubject subject NDC NDLC BSH NDLSH MeSH DDC LCC UDC LCSH		①subjectScheme=NDC(NDLC)BSH(NDLSH)MeSH(DDC)LCC(UDC)LCSHのとき →subjectSchemeの値に応じて、Junii2の対応要素に値をセットする。 ②subjectSchemeが上記以外 (subjectSchemeがない場合) →subjectに値をセットする。 ③xml:lang属性は切り捨てる。 ※NIIsubjectへのマッピングはなし。							①名前識別子のフォーマットを満たしていない。(語彙別表参照) ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録) ③subjectSchemeが存在しない。
		subjectScheme	FALSE	M	1	subjectSchemeにはIDの値をHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、subjectURIは指定しない (例: https://id.ndl.go.jp/auth/ndish/00575529)。	分類の項目名は記入しない。著者キーワードの場合subjectSchemeは"Other"を指定する。各言語コードのjpcoar:subjectの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。												①名前識別子のフォーマットを満たしていない。(語彙別表参照) ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録) ③subjectSchemeが存在しない。	
		subjectURI	FALSE	MA	0-1	subjectURIにはIDの値をHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、subjectURIは指定しない (例: https://id.ndl.go.jp/auth/ndish/00575529)。	分類の項目名は記入しない。著者キーワードの場合subjectSchemeは"Other"を指定する。各言語コードのjpcoar:subjectの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。													①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。(語彙別表参照)

JPCOARスキーマ ver1.0.2 項目一覧										マッピング			正規化		エラーチェック					
No	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記し レベル	繰り返し 回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	xml2からのマッピング	xml2へのマッピング	xml2への変換時対応	正規化(msgなし)	正規化(msgあり)	レコードエラー	項目エラー	ワーニング		
10	datacite:description		TRUE	MA	0-N	コンテンツの内容を示す情報を記述する。データについては、技術的な情報等、他の要素に当てはまらない追加情報を記入する。descriptionTypeには以下の規制語彙から選択して記入する。論文の抄録の場合は"Abstract"を選択する。 - Abstract - Methods - TableOfContents - TechnicalInfo - Other	datacite:descriptionを使用する場合、必ずdescriptionTypeを指定する。各言語コードのdatacite:description/出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<datacite:description xml:lang="ja" descriptionType="Abstract">国立情報学研究所が提供する「共用リポジトリサービス」JAIRO Cloudは、いまやIAIRO Cloudを置きに日本の機関リポジトリを越え、このIAIRO Cloudについて、主にそのシステム構築の意義について述べる。IAIRO Cloudのシステム構築の特徴は維持継続が容易で複製性が高いことにある。IAIRO Cloudの特色を地域リポジトリと比較により明らかにした上で、現在の取り組みを紹介していく。</datacite:description> ※例は以下の論文の抄録を使用 前田 尚, 加藤 真士, 高橋 菜奈子, 山崎 一祐, システム構築としてのIAIRO Cloud. 大学図書館研究, 2016, vol.103, p.9-15.	descriptionTypeを省略してはならない。 <datacite:description xml:lang="ja">国立情報学研究所が提供する「共用リポジトリサービス」JAIRO Cloudは、いまやIAIRO Cloudを置きに日本の機関リポジトリを越え、このIAIRO Cloudについて、主にそのシステム構築の意義について述べる。IAIRO Cloudのシステム構築の特徴は維持継続が容易で複製性が高いことにある。IAIRO Cloudの特色を地域リポジトリと比較により明らかにした上で、現在の取り組みを紹介していく。</datacite:description> ※例は以下の論文の抄録を使用 前田 尚, 加藤 真士, 高橋 菜奈子, 山崎 一祐, システム構築としてのIAIRO Cloud. 大学図書館研究, 2016, vol.103, p.9-15.	内容記述 その他の資源識別子 情報源 資源タイプ	description identifier source type	description	xml:lang属性は切り捨てる。	①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②英大文字 -> 英小文字 (xml:langのみ) ③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)			①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録) ②descriptionTypeが存在しない。		
	descriptionType	FALSE	M	1																
11	dc:publisher		TRUE	MA	0-N	コンテンツ本体を公開した主体を記入する。名称が複数言語ある場合は、コンテンツ本体と同じ言語の名称を優先する。個人名については「姓,名」とする。肩書きは記入しない。	名称ではなく正式名称を記入する。作成者等の所属する組織にはjpcoar:affiliationを使用する。役割等の補助的な情報は記入しない。各言語コードのdc:publisherの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<dc:publisher xml:lang="en">Elsevier</dc:publisher> <dc:publisher xml:lang="ja">日本物理学会</dc:publisher>	出版地は記入しない。 <dc:publisher>東京</dc:publisher> 印刷者や製本者は記入しない。 <dc:publisher>開成印刷</dc:publisher> 機関の運営名称等、同一言語での異なる表記を記述してはならない。 <dc:publisher xml:lang="ja">日本建築学会</dc:publisher> <dc:publisher xml:lang="ja">建築学会</dc:publisher>	公開者	publisher	publisher	①xml:lang属性はlang属性として変換 (言語コード変換)	①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②英大文字 -> 英小文字 (xml:langのみ) ③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)				
	dateType	FALSE	M	1																
12	datacite:date		FALSE	MA	0-N	コンテンツに関連する日付を記入する。日付はISO-8601で規定する次の3形式 (YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY) で記入する。dateTypeは以下の規制語彙から選択して必ず記入する。 - Accepted - Available - Collected - Copyrighted - Created - Issued - Submitted - Updated - Valid	Issued (発行日) がある場合は記入必須。その他の日付は関連する情報があれば必ず記入する。coar:accessRights (アクセス権) で "embargoed access" を指定した場合は、dateTypeに"Available"を指定し、利用開始日を記入する。	発行日 <datacite:date dateType="Issued">2015-10-01</datacite:date> エンタープライズ後の利用開始日 <datacite:date dateType="Available">2016-01-01</datacite:date>	dateTypeを省略してはならない。 <datacite:date>2015-10-01</datacite:date> コンテンツ本文が英語と日本語 <datacite:date dateType="Issued">19--</datacite:date>	日付 刊行年月日	date dateofissued	date dateofissued	①dateType="Issued"のとき →最初の1つを dateofissued にセット ②dateTypeが上記以外、およびIssuedが2つ目以降 →dateにセット	①全角 -> 半角	①日付の正規化	①dateTypeが存在しない。 ②YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY形式であるかのチェック。 ③MM-DDの妥当性チェック。 (周年点要素が存在しない)	③0 <= YYYY <= システム年+10の範囲外である。 ④accessRights=embargoed accessのとき、dateType=Availableのdate要素が存在しない。			
	dateType	FALSE	M	1																
13	dc:language		FALSE	R	0-N	コンテンツ本文で用いられている主な言語を記入する。ISO-639-3 言語コードで記入する。ISO-639-3のマクロラングージの使用は任意とする。	言語名を記入しない。国コードを記入しない。優先度の高い言語の順に記入する。	コンテンツ本文が英語 <dc:language>eng</dc:language> コンテンツ本文が英語と日本語 <dc:language>eng</dc:language> <dc:language>jpn</dc:language> ISO-639-1は推奨しない。 <dc:language>ja</dc:language> ①要素に複数の言語を記入しない。 <dc:language>engjpn</dc:language> 大文字や全角文字を使用しない。 <dc:language>JPN</dc:language> <dc:language>e n g</dc:language> 言語名を記入しない。 <dc:language>日本語</dc:language> 国名を記入しない。 <dc:language>US</dc:language> ISO-639以外の規格の文字コードを記入しない。 <dc:language>en_US</dc:language>	言語	language	language	①言語コードの変換	①全角 -> 半角 ②英大文字 -> 英小文字	①言語コードの変換	①語彙に存在しない。					
	dc:type	FALSE	M	1																
14	dc:type		FALSE			コンテンツの種類を資源タイプ語彙表から選択して記入する。rdf:resourceには各規制語彙に対応するCOAR Resource Type (http://vocabularies.coar-repositories.org/documentation/resource_types/) のURIを記入する。	departmental bulletin paper (紀要論文) およびarticle (記要) は、journal article (学術雑誌論文) のURIを記入する。	学術雑誌論文の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">journal article</dc:type> 紀要論文の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">departme ntal bulletin paper</dc:type> 博士論文の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_db06">doctoral thesis</dc:type> データセットの例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_ddb1">dataset</ dc:type> 記事の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">article</d c:type>	NI資源タイプ	NItype	NItype	①「資源タイプ語彙表」の対応に就いてNItypeに変換する。 ②doctoral thesisのとき、NDL博士論文提出チェックを通過したレコードはtextversion=ETDにする。	①全角 -> 半角 ②英大文字 -> 英小文字 ③語彙に合わせた大文字小文字の変換	①要素がない。 ②語彙に存在しない。(資源タイプ語彙表参照) ③doctoral thesisのとき、NDL博士論文提出チェック(別項)						
	rdf:resource	FALSE	M	1																
15	datacite:version		FALSE	O	0-1	データの更新に伴うバージョン番号を記入する。"メジャーバージョン番号" "マイナーバージョン番号"の形式で記入する。	データの更新のみ使用する。バージョンの変更がある場合は、記入が望ましい。メジャーバージョン変更の際には新しいコンテンツとして扱い、別途メタデータレコードを作成する。その際にはjpcoar:relation (関連情報) に旧バージョンとの関係性を記述する。論文の(バージョン情報)についてはoaire:version (出版タイプ) を使用する。	<datacite:version>1.2</datacite:version>	バージョンに番号以外の文字列を記入してはならない。 <datacite:version>ver 1.2</datacite:version>								①全角 -> 半角	①[0-9]+@[0-9]+以外の形式である。 ([数字][ピリオド][数字]の組み合わせ以外はエラー)		
	oaire:version	FALSE	MA	0-1																
16	oaire:version		FALSE	MA	0-1	論文の(バージョン情報)を記入する。以下の規制語彙から選択して記入する。 - AO: Author's Original - SMUR: Submitted Manuscript Under Review - AM: Accepted Manuscript - P: Proof - VoR: Version of Record - CVoR: Corrected Version of Record - EVoR: Enhanced Version of Record - NA: Not Applicable (or Unknown)	論文の場合、必ず記入する。データの(バージョン情報)についてはdatacite:version (バージョン情報) を使用する。	著者最終稿 (査読後、最終的に出版社に受理された原稿) の場合 <oaire:version rdf:resource="http://purl.org/coar/version/c_ab4af688f3e57aa">AM</oaire:version> 出版社版の場合 <oaire:version rdf:resource="http://purl.org/coar/version/c_970bf484fd8a85">VoR</oaire:version>	AO SMUR AM P VoR CVoR EVoR NA	著者版フラグ	textversion	textversion	AO -> author SMUR -> author AM -> author P -> publisher VoR -> publisher CVoR -> publisher EVoR -> publisher NA -> 編集 (textversion要素を付けない) oaire:version要素なし -> none 但し、dc:type=doctoral thesisのとき、条件を満たしたレコードは"ETD"にする。(上記に優先する)	①全角 -> 半角 ②英大文字 -> 英小文字 ③語彙に合わせた大文字小文字の変換	①語彙に存在しない。	①dc:type=journal articleのとき、oaire:versionが指定されていない。				
	rdf:resource	FALSE	M	1																
17	jpcoar:identifier		FALSE	MA	0-N	コンテンツを識別するユニークなIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: https://doi.org/10.18926/AMO/54590 (DOI) http://hdl.handle.net/2115/64495 (HDL) http://osaka-u.repo.nii.ac.jp/ja/54559 (URI))。identifierTypeには以下の規制語彙から選択して記入する。 - DOI - HDL - URI	リポジトリコンテンツの自身のIDを記入する。学術雑誌論文の出版元等のDOIはjpcoar:relation (関連情報) に記入する。JALC DOIを登録する場合は、jpcoar:identifierだけでなく、jpcoar:identifierRegistration (R登録、ID情報) に登録するOAIの"prefix/suffix"形式で記入する。datacite:identifierを記入する場合、必ずidentifierTypeを指定する。	<jpcoar:identifier identifierType="HDL">http://hdl.handle.net/2115/64495</jpcoar:iden tifier>	資源識別子URI JALCDOI	URI urlDOI	URI	複数のidentifierが存在する場合、identifierType HDL>URI>DOIの優先順位で1つだけ移行し、他は切り捨てる。同じidentifierTypeのデータが複数ある場合は、最初の1つを選択する。	①全角 -> 半角		①URI形式チェック ②identifierTypeが存在しない。 ③jpcoar:identifierRegistrationがあるとき、[prefix]/[suffix]が一致しない。 (jpcoar:identifierRegistration要素がない場合も含む)					
	identifierType	FALSE	M	1																

JPCOARスキーマ ver1.0.2 項目一覧										マッピング			正規化		エラーチェック					
No	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返回 数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	Junii2からのマッピング	Junii2へのマッピング	Junii2への変換時対応	正規化(msgなし)	正規化(msgあり)	レコードエラー	項目エラー	ワーニング		
18	jpcoar:identifierRegistration		FALSE	MA	0-1	リポジットコンテンツの自身のIDはjpcoar:identifier (識別子) に記入する。"JaLC"または"Crossref"を選択した場合、Junii2スキーマのselfDOIに相当する。JaLCでDOIを登録する場合は、jpcoar:identifierRegistrationだけでなく、jpcoar:identifier (識別子) identifierType="DOI"にDOIをHTTP URL形式で記入する。 jpcoar:identifierRegistrationはJaLCとのデータ連携のためのみに使用される。	URLスキーム"info:doi/"、"doi:"は使用してはならない。 <jpcoar:identifierRegistration identifierType="JaLC">info:doi/10.1594/WDC/CCSRNIES_SRES_B2</jpcoar:identifierRegistration> <jpcoar:identifierRegistration identifierType="DOI">https://doi.org/10.1594/WDC/CCSRNIES_SRES_B2</jpcoar:identifierRegistration>		JaLCDOI	selfDOI	selfDOI	①identifierType=JaLC Crossref DataCiteのとき、移行する。 ②先頭に"info:doi/"を付加する。 ③identifierType=PMIDは切り捨てる。	①全角 -> 半角 ②先頭の"info:doi/"、"doi:"は削除する。			①jpcoar:identifierRegistrationが存在するとき、同じ[prefix][suffix]を持つDOIが jpcoar:identifier@identifierType="DOI"として入力されていること。(identifierType="PMID"のときを除く) (語彙別表参照) ② identifierType="JaLC Crossref DataCite"のとき、JaLC DOI付与チェック (別表)				
		identifierType	FALSE	M	1					JaLC Crossref DataCite PMID (現在不使用)	RA属性	ra	selfDOI@ra		①全角 -> 半角 ②英大文字 -> 英小文字 ③語彙に合わせた大文字小文字の変換		①語彙が存在しない。			
19	jpcoar:relation			R	0-N	登録するコンテンツと関連するコンテンツ間の関連性を記入する。relationTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。該当する語彙がない場合はrelationTypeを記入しない。 - isVersionOf - hasVersion - isPartOf - hasPart - isReferencedBy - references - isFormatOf - hasFormat - isReplacedBy - replaces - isRequiredBy - requires - isSupplementedTo - isSupplementedBy - isIdenticalTo - isDerivedFrom - isSourceOf	シリーズ名を有するコンテンツで、シリーズタイトルにリンクする場合は、relationType="isPartOf"を使用する。コンテンツが図表の一部 (巻など) で、図表全体のタイトルにリンクする場合は、relationType="isPartOf"を使用する。書籍目録から出版者が付与したDOIにリンクする場合は、relationType="isVersionOf"を使用する。	学術雑誌の著者目録から出版社へリンクする場合 <jpcoar:relation relationType="isVersionOf"> <jpcoar:relatedIdentifier identifierType="DOI">https://doi.org/10.1371/journal.pone.0170224</jpcoar:relatedIdentifier> </jpcoar:relation> リンク先のコンテンツに識別子が無い場合 <jpcoar:relation relationType="isPartOf"> <jpcoar:relatedTitle xml:lang="ja">バリンガル育成を目指した中・高生、日本人院生、外国人院生のチームティーチングによる支援</jpcoar:relatedTitle> </jpcoar:relation>										①relationTypeが存在しない。		
		relationType	FALSE	R	0-1					isVersionOf hasVersion isPartOf hasPart isReferencedBy references isFormatOf hasFormat isReplacedBy replaces isRequiredBy requires isSupplementedTo isSupplementedBy isIdenticalTo isDerivedFrom isSourceOf					①全角 -> 半角 ②英大文字 -> 英小文字 ③語彙に合わせた大文字小文字の変換		①語彙が存在しない。			
19.1	jpcoar:relatedIdentifier		FALSE	R	0-1	関連するコンテンツの識別子を記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: https://doi.org/10.1594/WDC/CCSRNIES_SRES_B2 (DOI))。identifierTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。 - ARK - arXiv - DOI - HDL - ICHUSHI - ISBN - J-GLOBAL - Local - PISSN - EISSN - ISSN (非推奨) - NAID - NCID - PMID - PURL - SCOPUS - URI - WOS	識別子が存在しない場合はjpcoar:relatedTitle (関連名称) を記入する。jpcoar:relatedIdentifierを記入する場合は、必須。identifierType="NCID"には収録物以外のNCIDを記入し、収録物のNCIDはjpcoar:sourceIdentifier (収録物識別子) を使用する。identifierType:"ISSN"を設けるが、原則使用しない。PISSNまたはEISSNの判別が複雑な場合に依って使用する。	<jpcoar:relatedIdentifier identifierType="DOI">https://doi.org/10.1371/journal.pone.0170224</jpcoar:relatedIdentifier>		ISBN PubMed番号 DOI NII論文ID 雑誌レコードID (総合目録DB) 館中誌ID	isbn pmid doi NAID NCID ichushi	isVersionOf hasVersion isReplacedBy replaces isRequiredBy requires isPartOf hasPart isReferencedBy references isFormatOf hasFormat isbn pmid doi NAID NCID ichushi	①relationType=isIdenticalToのとき ②-a) identifierTypeが以下のとき、対応したJunii2要素に移行する。 ISBN -> isbn PMID -> pmid (1つ目のみ) DOI -> doi (1つ目のみ) NAID -> NAID (1つ目のみ) ICHUSHI -> ichushi (1つ目のみ) ①-b) identifierTypeが上記以外のデータは切り捨てる。 ②relationType=isVersionOf hasVersion isReplacedBy replaces isRequiredBy requires isPartOf hasPart isReferencedBy references isFormatOf hasFormatのとき ②-a) identifierType=ARK DOI HDL UR PURL のとき relationType に対応したJunii2要素に移行する。 ②-b) identifierTypeが上記以外のデータは切り捨てる。 ③ relationType=isSupplementTo isSupplementedBy isDerivedFrom isSourceOfのとき relation に移行する。					①語彙別のフォーマットを満たしていない。(語彙別表参照) ②identifierTypeが存在しない。		
		identifierType	FALSE	M	1					ARK arXiv DOI HDL ICHUSHI ISBN J-GLOBAL Local PISSN EISSN ISSN (非推奨) NAID NCID PMID PURL SCOPUS URI WOS				①全角 -> 半角 ②英大文字 -> 英小文字 ③語彙に合わせた大文字小文字の変換		①語彙が存在しない。	③identifierType=issnが指定されている。			
19.2	jpcoar:relatedTitle		TRUE	R	0-N	関連するコンテンツのタイトルを記入する。	対象に識別子が存在する場合はjpcoar:relatedIdentifier (識別子) に記入する。該当する識別子が存在しない場合にのみ記入する。各言語コードのjpcoar:relatedTitleの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:relatedTitle xml:lang="ja">バリンガル育成を目指した中高生、日本人院生、外国人院生のチームティーチングによる支援</jpcoar:relatedTitle>		他の異源との関係	relation	relation	xml:lang属性は切り捨てる。	①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②英大文字 -> 英小文字 (xml:langのみ) ③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)			

JPCOARスキーマ ver.1.0.2 項目一覧																マッピング		正規化		エラーチェック		
No	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返回 数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	Junii2からのマッピング	Junii2へのマッピング	Junii2への変換時対応	正規化(msgなし)	正規化(msgあり)	レコードエラー	項目エラー	ワーニング				
20	dcterms:temporal		TRUE	O	0-N	コンテンツの内容の時間的範囲を記入する。所定のスキーマに従って記入することが望ましい。	各言語コードのdcterms:temporalの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<dcterms:temporal xml:lang="ja">奈良時代</dcterms:temporal> <dcterms:temporal xml:lang="en">A.D. 1800 - A.D. 1850</dcterms:temporal>		時間 時間的 国立情報学研究所メタデー タ主題語彙集(時代)	coverage temporal N:temporal	temporal	xml:lang属性は切り捨てる。	①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②英大文字 -> 英小文字 (xml:langのみ) ③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)					
21	datacite:geoLocation			O	0-N	コンテンツを収録した、またはコンテンツの内容の空間的情報を記入する。		ボックス状の空間的範囲を記述する例 <datacite:geoLocation> <datacite:geoLocationBox> <datacite:westBoundLongitude> 71.032</datacite:westBoundLongitude> <datacite:eastBoundLongitude> 68.211</datacite:eastBoundLongitude> <datacite:southBoundLatitude>41.090</datacite:southBoundLatitude> <datacite:northBoundLatitude>42.893</datacite:northBoundLatitude> </datacite:geoLocationBox> </datacite:geoLocation> 地名を記述する例 <datacite:geoLocation> <datacite:geoLocationPlace>Disko Bay</datacite:geoLocationPlace> </datacite:geoLocation>														
21.1	datacite:geoLocationPoint		FALSE	O	0-1	コンテンツが指す空間の一点を記入する。																
21.1.1	datacite:pointLongitude		FALSE	M	1	経度の値。10進数で表す。範囲は-180~180で、正の値は東部を表す。	datacite:geoLocationPointを使用する場合は必須。													①数値であり、-180~180の範囲外である。(小数あり)		
21.1.2	datacite:pointLatitude		FALSE	M	1	緯度の値。10進数で表す。範囲は-90~90で、正の値は北部を表す。	datacite:geoLocationPointを使用する場合は必須。														①数値であり、-90~90の範囲外である。(小数あり)	
21.2	datacite:geoLocationBox		FALSE	O	0-1	コンテンツが指すボックス状の空間的範囲を記入する。		<datacite:geoLocationBox> <datacite:westBoundLongitude> 71.032</datacite:westBoundLongitude> <datacite:eastBoundLongitude> 68.211</datacite:eastBoundLongitude> <datacite:southBoundLatitude>41.090</datacite:southBoundLatitude> <datacite:northBoundLatitude>42.893</datacite:northBoundLatitude> </datacite:geoLocationBox>													①datacite:westBoundLongitude、 datacite:eastBoundLongitude、 datacite:southBoundLatitude、 datacite:northBoundLatitudeが存在しな い。	
21.2.1	datacite:westBoundLongitude		FALSE	M	1	西部経度の値。10進数で表す。範囲は-180~180で、正の値は東部を表す。	datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。														①数値であり、-180~180の範囲外である。(小数あり)	
21.2.2	datacite:eastBoundLongitude		FALSE	M	1	東部経度の値。10進数で表す。範囲は-180~180で、正の値は東部を表す。	datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。														①数値であり、-180~180の範囲外である。(小数あり)	
21.2.3	datacite:southBoundLatitude		FALSE	M	1	南部緯度の値。10進数で表す。範囲は-90~90で、正の値は北部を表す。	datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。														①数値であり、-90~90の範囲外である。(小数あり)	
21.2.4	datacite:northBoundLatitude		FALSE	M	1	北部緯度の値。10進数で表す。範囲は-90~90で、正の値は北部を表す。	datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。														①数値であり、-90~90の範囲外である。(小数あり)	
21.3	datacite:geoLocationPlace		FALSE	O	0-N	コンテンツが指す地理上の地点の名称を記入する。		<datacite:geoLocationPlace>Disko Bay</datacite:geoLocationPlace>		空間的 国立情報学研究所メタデー タ主題語彙集(地域)	spatial N:spatial	spatial										
22	jpcoar:fundingReference			MA	0-N	コンテンツ作成の際に研究助成を受けた場合は、利用した助成金情報を記入する。		<jpcoar:fundingReference> <datacite:funderIdentifier funderIdentifierType="Crossref Funder">https://doi.org/10.13039/501100000780</datacite:funderIdentifier> <jpcoar:funderName xml:lang="en">European Commission</jpcoar:funderName> <datacite:awardNumber awardURL="http://cordis.europa.eu/project/rcn/100603_en.html">284382</datacite:awardNumber> <jpcoar:awardTitle xml:lang="en"> Institutionalizing global genetic-resource commons. Global Strategies for accessing and using essential public knowledge assets in the life science </jpcoar:awardTitle> </jpcoar:fundingReference>													①jpcoar:funderNameが存在しない。	
22.1	datacite:funderIdentifier		FALSE	MA	0-1	助成主体の本格的な識別子をHTTP URI形式で記入する。funderIdentifierTypeは以下の税制語彙から選択して記入する。 - Crossref Funder - GRID - ISNI - Other	Crossref Funder IDの使用を推奨する。Crossref Funder IDがない場合に限り、その他の識別子を記入する。	<datacite:funderIdentifier funderIdentifierType="Crossref Funder">https://doi.org/10.13039/501100000780</datacite:funderIdentifier>		ISNI GRID Crossref Funder Other										①URI形式チェック。 ②funderIdentifierTypeが存在しない。		
	funderIdentifierType		FALSE	M	1																①全角 -> 半角 ②英大文字 -> 英小文字 ③語彙に合わせた大文字小文字の変換	
22.2	jpcoar:funderName		TRUE	M	1-N	助成機関等、助成を行った主体の名称を記入する。	jpcoar:fundingReferenceを記入する場合は、必須。略称ではなく、正式名称を記入する。各言語コードのjpcoar:funderNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:funderName xml:lang="en">European Commission</jpcoar:funderName>													①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②英大文字 -> 英小文字 (xml:langのみ) ③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	
																					①言語コードの変換 (xml:langのみ)	
22.3	datacite:awardNumber		FALSE	MA	0-1	研究課題番号を文字列で記入する。記述方法は助成団体による(例: 15H02781 (科研費))。awardURLは、助成団体が提供している当該の助成に関する詳細情報をHTTP URI形式で記入する。科研費の場合は、KAKENデータベースの該当するページのURLを記入する。		<datacite:awardNumber awardURL="http://cordis.europa.eu/project/rcn/100603_en.html">284382</datacite:awardNumber>														①URI形式チェック。
	awardURL		FALSE	MA	0-1																	①全角 -> 半角
22.4	jpcoar:awardTitle		TRUE	MA	0-N	研究課題名を文字列で記入する。	各言語コードのjpcoar:awardTitleの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:awardTitle xml:lang="en"> Institutionalizing global genetic-resource commons. Global Strategies for accessing and using essential public knowledge assets in the life science </jpcoar:awardTitle>													①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②英大文字 -> 英小文字 (xml:langのみ) ③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	
																						①言語コードの変換 (xml:langのみ)

JPCOARスキーマ ver1.0.2 項目一覧										マッピング			正規化		エラーチェック						
No	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記し レベル	繰返 回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	Junii2からのマッピング	Junii2へのマッピング	Junii2への変換時対応	正規化(msgなし)	正規化(msgあり)	レコードエラー	項目エラー	ワーニング			
23	jpcoar:sourceIdentifier		FALSE	MA	0-N	収録物に付与された識別子を記入する。記述方法は選択した識別子に依存する。identifierTypeには以下の識別子から選択して記入する。 - PISSN - EISSN - ISSN (非推奨) - NCID	ISSN、NCIDがある場合は必ず記入する。収録物以外のNCIDはjpcoar:relatedIdentifier (関連識別子) を使用する。Junii2下位互換用語彙としてidentifierTypeに"ISSN"を設けるが、原則使用しない。PISSNまたはEISSNの判別が困難な場合に併せて使用する。	<jpcoar:sourceIdentifier identifierType="PISSN">1234-5678</jpcoar:sourceIdentifier> <jpcoar:sourceIdentifier identifierType="NCID">AN12345678</jpcoar:sourceIdentifier>		ISSN 書籍しコードID(組合報告DB) PISSN EISSN ISSN (非推奨) NCID	issn NCID	issn NCID	identifierTypeに従って、対応するJunii2要素に移行する。PISSN、EISSN、ISSN -> issn NCID -> NCID	①全角 -> 半角 ②identifierType="[PIE]"ISSNのとき、ハイフン統一				①語彙別のフォーマットを満たしていない。(語彙別表参照) ②identifierTypeが存在しない。			
		identifierType	FALSE	M	1									①全角 -> 半角 ②英大文字 -> 英小文字 ③語彙に合わせた大文字小文字の変換				①語彙に存在しない。 ②identifierType=issnが指定されている。			
24	jpcoar:sourceTitle		TRUE	MA	0-N	コンテンツの収録物のタイトルを記入する。	日本語種別名で和文、欧文コンテンツが存在する場合は、本文の言語に応じて種別名を表記することが望ましい。タイトルが複数言語ある場合は、要素を繰り返して記入する。ただし、各言語コードのtitleの出現回数は1回までとする。言語表記ごとの繰り返しをする場合は、優先度の高い言語表記の順に記入する。	<jpcoar:sourceTitle xml:lang="ja">看護総合科学研究会誌</jpcoar:sourceTitle> <jpcoar:sourceTitle xml:lang="en">Annu Rev Biochem</jpcoar:sourceTitle>	収録物名の種別名は置換しない。	種別名	jttitle	jttitle	①複数ある場合は最初の1つのみ移行。(2つ目以降は切り捨てる) ②xml:lang属性はlang属性として変換(言語コード変換)	①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②英大文字 -> 英小文字 (xml:langのみ) ③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)			①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)			
25	jpcoar:volume		FALSE	MA	0-1	収録物の巻レベルを記入する。単位を表す語句(「巻」、「vol」、「号」、「年」など)は記入しない。巻号と通巻の両方が存在する場合は、巻号を採用する。	号または巻号のみをもつ場合は、巻レベルとし、jpcoar:volumeに記入する。アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。アラビア数字に変換できない場合は、そのまま転記する。	<jpcoar:volume>1</jpcoar:volume>		巻	volume	volume		①全角->半角 (英数字記号「_」:「/」のみ)				①1-32文字までのチェック。			
26	jpcoar:issue		FALSE	MA	0-1	収録物の号レベルを記入する。単位を表す語句(「号」、「issue」など)は削除する。	号または巻号のみをもつ場合は、巻レベルとし、jpcoar:volumeに記入する。アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。アラビア数字に変換できない場合は、そのまま転記する。号レベルより下位のレベルが存在する場合でも(例えばvolume3.issue2.part1等の場合)、その下位レベルについては記入しない。	<jpcoar:issue>1</jpcoar:issue>		号	issue	issue		①全角->半角 (英数字記号「_」:「/」のみ)				①volumeがなく、issueがあるとき、issueをvolumeに移動する。		①1-32文字までのチェック。	
27	jpcoar:numPages		FALSE	MA	0-1	コンテンツの総ページ数を記入する。		<jpcoar:numPages>12</jpcoar:numPages>				-		①全角->半角 (英数字記号「_」:「/」のみ)				①1-100文字までのチェック。			
28	jpcoar:pageStart		FALSE	MA	0-1	コンテンツの収録物における開始ページを記入する。開始ページと終了ページが同じ場合は、jpcoar:pageEndにも同様の値を記入する。巻(volume)の通ページと、号(issue)ごとのページの両方が存在する場合は、巻(volume)の通ページを記入する。	アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。	<jpcoar:pageStart>1</jpcoar:pageStart>		開始ページ	epage	epage		①全角->半角 (英数字記号「_」:「/」のみ)				①1-100文字までのチェック。			
29	jpcoar:pageEnd		FALSE	MA	0-1	コンテンツの収録物における終了ページを記入する。開始ページと終了ページが同じ場合は、jpcoar:pageStartと同様の値を記入する。巻(volume)の通ページと、号(issue)ごとのページの両方が存在する場合は、巻(volume)の通ページを記入する。	アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。	<jpcoar:pageEnd>12</jpcoar:pageEnd>		終了ページ	epage	epage		①全角->半角 (英数字記号「_」:「/」のみ)				①1-100文字までのチェック。			
30	dcndi:dissertationNumber		FALSE	MA	0-1	学位授与番号を記入する。	学位規則改正(2013年4月1日)以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。学博士論文の場合は、学位記番号ではなく報告番号を記入する。	<dcndi:dissertationNumber>甲第5384号</dcndi:dissertationNumber>	科研費機関番号(数字5桁)+[甲>A 乙>B 他>Z]+報告番号の形式(junii2 ver 3.0)は推奨しない。	学位授与番号	grantid	grantid		①全角 -> 半角							
31	dcndi:degreeName		TRUE	MA	0-N	学位規則で定められている学位の種別と学位の分野を記入する。	学位規則改正(2013年4月1日)以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。国際流通を鑑み、英語名称を合わせて記入することを推奨する。各言語コードのdcndi:degreeNameの出現回数は1回までとする。	<dcndi:degreeName xml:lang="en">Doctor of Philosophy in Letters</dcndi:degreeName> <dcndi:degreeName xml:lang="ja">博士(文学)</dcndi:degreeName>		学位名	degreename	degreename	xml:lang属性は切り捨てる。	①全角->半角 (xml:langのみ) ②英大文字->英小文字 (xml:langのみ) ③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)			①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)			
32	dcndi:dateGranted		FALSE	MA	0-1	学位授与年月日を記入する。日付はISO-8601で規定する次の形式(YYYY-MM-DD、YYYY-MM、YYYY)で記入する。	学位規則改正(2013年4月1日)以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。	<dcndi:dateGranted>2016-03-25</dcndi:dateGranted>		学位授与年月日	dateofgranted	dateofgranted		①全角 -> 半角	①日付の正規化			①YYYY-MM-DD、YYYY-MM、YYYY形式であるかのチェック。 ②MM-DDの正当性チェック。(暦年高 初)	①0 <= YYYY <= システム年+5の範囲外である。		
33	jpcoar:degreeGrantor			MA	0-N	学位授与機関の情報を記入する。	共同大学院の場合は、学生の籍がある大学を最初に記入し、繰り返し記入する。	<jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">32653</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">東京女子医科大学</jpcoar:degreeGrantorName> </jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">32689</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">早稲田大学</jpcoar:degreeGrantorName> </jpcoar:degreeGrantor>	共同大学院をひとつのjpcoar:degreeGrantorに記入することは推奨しない。												
33.1	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	MA	0-N	学位授与機関を一意に識別する科研費機関番号を記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeには"kakenhi"を記入する。	学位規則改正(2013年4月1日)以降に授与された博士論文を登録する場合は、学位授与機関の科研費機関番号の記入が必須。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">15301</jpcoar:nameIdentifier>		NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi ISNI Ringsgold GRID				①全角 -> 半角				①語彙別のフォーマットを満たしていない。(語彙別表参照) ②nameIdentifierSchemeが存在しない。			
		nameIdentifierScheme	FALSE	M	1									①全角->半角 ②英大文字->英小文字 ③語彙に合わせた大文字小文字の変換				①語彙に存在しない。			
33.2	jpcoar:degreeGrantorName		TRUE	MA	0-N	学位授与機関の名称を記入する。学位授与機関名の言語情報はxml:langに記入する。	学位規則改正(2013年4月1日)以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。略称ではなく、正式名称を記入する。各言語コードのjpcoar:degreeGrantorNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">岡山大学</jpcoar:degreeGrantorName> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="en">Okayama University</jpcoar:degreeGrantorName>		学位授与機関	grantor	grantor	①degreeGrantorレベルで繰り返ししているときは、degreeGrantor毎にdegreeGrantorNameの最初の1つを取り出して結合し、移行する。結合時のデリミタは' '。 ②degreeGrantor内でdegreeGrantorNameが繰り返している場合は、最初の1つのみ移行。(2つ目以降は切り捨てる) ③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ) ④xml:lang属性は切り捨てる。	①全角->半角 (xml:langのみ) ②英大文字->英小文字 (xml:langのみ) ③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)				

JPCOARスキーマ ver1.0.2 項目一覧						マッピング				正規化		エラーチェック											
No	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰り返し 回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	言語	Junii2からのマッピング	Junii2へのマッピング	Junii2への変換時対応	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング					
34	jpcoar:conference		-	R	0-N	会議情報を記入する。		<jpcoar:conference> <jpcoar:conferenceName xml:lang="en">RDA Seventh Plenary Meeting</jpcoar:conferenceName> <jpcoar:conferenceSequence-7</jpcoar:conferenceSequence> <jpcoar:conferenceSponsor xml:lang="en">The Research Data Alliance</jpcoar:conferenceSponsor> <jpcoar:conferenceDate xml:lang="en" startDay="29" startMonth="02" startYear="2016" endDay="04" endMonth="03" endYear="2016">February 29th to March 4th, 2016</jpcoar:conferenceDate> <jpcoar:conferenceVenue xml:lang="en">Hitotsubashi Hall</jpcoar:conferenceVenue> <jpcoar:conferencePlace xml:lang="en">Tokyo</jpcoar:conferencePlace> <jpcoar:conferenceCountry>JP</jpcoar:conferenceCountry>															
34.1	jpcoar:conferenceName		TRUE	R	0-N	会議名を記入する。	各言語コードのjpcoar:conferenceNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conferenceName xml:lang="en">RDA Seventh Plenary Meeting</jpcoar:conferenceName>						①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②英大文字 -> 英小文字 (xml:langのみ) ③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)			①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)						
34.2	jpcoar:conferenceSequence		FALSE	R	0-1	会議の部次を記入する。	アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。	<jpcoar:conferenceSequence-7</jpcoar:conferenceSequence>															
34.3	jpcoar:conferenceSponsor		TRUE	R	0-N	会議を主催する機関名を記入する。	会議の開催会場はjpcoar:conferenceVenueに記入する。各言語コードのjpcoar:conferenceSponsorの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conferenceSponsor xml:lang="en">The Research Data Alliance</jpcoar:conferenceSponsor>															
34.4	jpcoar:conferenceDate		TRUE	R	0-1	会議の開催期間について、開始年月日および終了年月日を年 (YYYY)、月 (MM)、日 (DD) の形式で各属性に、表示用の開始時刻を格納して記入する。 機械可読可能な日付 (属性) と表示用の開催期間 (値) の両方を記入することが望ましいが、いずれかの情報しかない場合は一方のみを記入する。	会議の開催が1日のみの場合は、属性のstartDayとendDayに同一の値を記入する。 格または属性のない日付のみの場合 <jpcoar:conferenceDate startDay="29" startMonth="02" startYear="2016" endDay="04" endMonth="03" endYear="2016">February 29th to March 4th, 2016</jpcoar:conferenceDate> <jpcoar:conferenceDate startDay="29" startMonth="02" startYear="2016" endDay="04" endMonth="03" endYear="2016" /><jpcoar:conferenceDate xml:lang="en">February 29th to March 4th, 2016</jpcoar:conferenceDate>																
		startDay	FALSE	MA	0-1																		
		startMonth	FALSE	MA	0-1																		
		startYear	FALSE	MA	0-1																		
		endDay	FALSE	MA	0-1																		
		endMonth	FALSE	MA	0-1																		
34.5	jpcoar:conferenceVenue		TRUE	R	0-N	会議が開催された会場を記入する。	会議の主権機関はjpcoar:conferenceSponsorに記入する。各言語コードのjpcoar:conferenceVenueの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conferenceVenue xml:lang="en">Hitotsubashi Hall</jpcoar:conferenceVenue>															
34.6	jpcoar:conferencePlace		TRUE	R	0-N	会議の開催地を記入する。	会議の開催地はjpcoar:conferenceCountryに記入する。各言語コードのjpcoar:conferencePlaceの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conferencePlace xml:lang="en">Tokyo</jpcoar:conferencePlace>															
34.7	jpcoar:conferenceCountry		FALSE	R	0-1	会議の開催国を記入する。ISO 3166-1 alpha-3形式で記入する。	ISO 3166-1 alpha-3形式以外で記入しない。	<jpcoar:conferenceCountry>JP</jpcoar:conferenceCountry>															
35	jpcoar:file		-	MA	0-N	コンテンツ本体に関する情報。		<jpcoar:file> <jpcoar:URI objectType="fulltext" label="70_5_331.pdf"> >http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/jpcoar/files/public/5/54590/20161108092537681027/70_5_331.pdf </jpcoar:URI> <jpcoar:mimeType>application/pdf</jpcoar:mimeType> <jpcoar:extent>3MB</jpcoar:extent> <jpcoar:extent>15 pages</jpcoar:extent> <datacite:date dateType="Issued">2015-10-01</datacite:date> </jpcoar:file> <jpcoar:file> <jpcoar:URI objectType="other" label="supplemental data"> >http://xxx.xxx.xxx.xxx/researchdata.zip</jpcoar:URI> <jpcoar:mimeType>application/zip</jpcoar:mimeType> <jpcoar:extent>3MB</jpcoar:extent> <datacite:date dateType="Created">2016-01-01</datacite:date> <datacite:version>1.2</datacite:version> </jpcoar:file>															
35.1	jpcoar:URI		FALSE	MA	0-1	コンテンツ本体ファイルのURIを記入する。objectTypeには以下の制限語彙から選択して記入する。 - abstract - dataset - summary - fulltext - software - thumbnail - other labelはファイル名がある場合、記入する。	objectTypeはURIがある場合は必須。博士論文の場合、要約はsummary、要旨はabstractを使用する。論文に付随する補足データ等はdatasetを使用する。	<jpcoar:URI objectType="fulltext" label="70_5_331.pdf">http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/jpcoar/files/public/5/54590/20161108092537681027/70_5_331.pdf </jpcoar:URI> <jpcoar:URI objectType="dataset" label="supplemental data">http://xxx.xxx.xxx.xxx/researchdata.zip</jpcoar:URI>															
		objectType	FALSE	MA	0-1																		
		label	FALSE	O	0-1																		
35.2	jpcoar:mimeType		FALSE	R	0-1	コンテンツのファイル形式を記入する。IANAに登録されているMIMEメディアタイプから選択することを推奨する。	コンテンツの種類はdc:type (資源タイプ) を使用する。コンテンツの分類はjpcoar:extent (サイズ) を使用する。	<jpcoar:mimeType>application/pdf</jpcoar:mimeType> <jpcoar:mimeType>application/zip</jpcoar:mimeType>															
35.3	jpcoar:extent		FALSE	O	0-N	ファイルサイズ、分量等の情報を記入する。自由記述。但し数値はアラビア数字を半角で記入する。	論文の開始ページはjpcoar:pageStart (開始ページ)、終了ページはjpcoar:pageEnd (終了ページ) を利用する。	<jpcoar:extent>3MB</jpcoar:extent>															
35.4	datacite:date		FALSE	MA	0-N	個別ファイルに関連する日付を記入する。日付はISO-8601 で規定する次の3形式 (YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY) で記入する。dateTypeには以下の制限語彙から選択して必ず記入する。 - Accepted - Available - Collected - Copyrighted - Created - Issued - Submitted - Updated - Valid	dc:terms:accessRights (アクセス権) で "embargoed access" を指定し、コンテンツ本体の単位でエンバゴ期間が異なる場合、dateType:"Available"を指定し、利用開始日を記入する。	発行日 <datacite:date dateType="Issued">2015-10-01</datacite:date> エンバゴ終了後の利用開始日 <datacite:date dateType="Available">2016-01-01</datacite:date>															
		dateType	FALSE	M	1																		
35.5	datacite:version		FALSE	O	0-1	データのバージョン情報。コンテンツの更新に伴うバージョン番号を記入する。*メジャーバージョン番号*マイナーバージョン番号の形式で記入する。	データのバージョンのみ使用する。バージョンの変更がある場合は、記入が望ましい。メジャーバージョン変更の際には新しいコンテンツとして扱い、別途メタデータレコードを作成する。その際にはjpcoar:relation (関連情報) に旧バージョンとの関係性を記述する。コンテンツ全体のバージョン情報についてはdatacite:version (バージョン情報) またはdc:version (出版タイプ) を使用する。	<datacite:version>1.2</datacite:version>															